

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372400248
事業所名	グループホーム 元気村

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 事業所は住宅街ではなく商業地域のため、日常生活や散歩の中で地域住民との交流は難しい。設立より10年以上経過し地域に根付いているが、今後の高齢社会に向け、事業所として果たすべき役割は大きいと思われる。法人他事業所を活かし、地域包括支援センターとも協働し、広報活動や住民への認知症知識の啓蒙等を通じて理解と協力関係の構築を期待したい。中学教諭を中心とした団体がボランティアとして訪問し、歌や紙芝居で利用者を楽しませている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 2か月毎に年6回開催され、高齢介護課、地区民生委員、家族、管理者、職員に加え利用者が参加することもある。毎回事故・ヒヤリハット報告があり、行政の提案によりその改善策資料が配布されるようになった。パワーポイントで映像を交えた行事報告や、新入社員の紹介を組み込んだりして事業所の実情を理解してもらおう努めている。制度や介護プランの期間変更を説明し、意見交換や質疑応答の時間も設けている。出された意見は検討し、必要な場合は結果を次回に報告している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 行政に運営推進会議の中で、「介護保険制度」の変更点を説明してもらい取り組みをしており、こまめに書類提出等で窓口へ足を運んで、困難時に相談や助言を得られるよう協力関係の構築に努めている。介護同業者の会議や市主催の研修や講習会への参加での意見交換や知識を、サービス向上に活かしている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族の意見や要望は、面会時や運営推進会議、家族会を通じて把握するように努めており、職員の対応はアンケート結果からも良好であることが伺える。出された個人的な思いは情報を共有し、介護の統一を図っている。また、家族が足を運ぶ機会を積極的に設け、事業所からも何かあれば伝えている。年2回家族交流会も開催、運営推進会議後、利用者も関わったカレーでの昼食会を企画し、利用者に喜びの場を提供している。毎月発行の「元気村メール」で状況報告や行事予定を掲載し、家族の好参加率に繋がっている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○				